連続フォーラム「子どものうちからバリアフリー」

第3回

『誰でもできる保育、一緒に考えたいこと』

第1回　2025年9月開催

「バリアフリー絵本と出会って」

～絵本のはなしをしよう～

第2回

2025年11月開催

「仲間のいる暮らしはバリアフリー」

～子どものはなしをしよう～

「誰でもできる保育」をめざしてきた。けれど、どうしてこんなにも難しいのだろう。

子どもが育つとは、できることが増えることなのでしょうか。子どものために良かれと思ってしたことが、その子の声を聞くことを妨げてはいないだろうかー。「できる・できない」という物差しで子どもを見てはいないか。個人の尊厳、平等、対等――大切だとわかっている言葉も、子どもとの暮らしの中では簡単ではありません。子どもをとらえ直すことは、子どもを見る自分自身を問い直すことでもあります。

家庭と園の水路がつながり、大人が一方的に与えるのではなく、こどもとつくる保育へ。子どもの遊び、絵本、物語のある暮らしを手がかりに、保育を通して私たちの暮らしを見つめてみる。

子どもが育つとは何か。大人が育つとは何か。そして、子どもを見ることから、私たちがつくっている社会をもう一度見つめ直してみたい。

2026年11月29日（日）13:00～16:00 受付12:30～

保育のテーマの説明10分／事例提起・トークセッション90分／休憩20分／ディスカッション60分

会場：戸塚区総合庁舎3階 多目的スペース（中）　＜戸塚駅より徒歩2分＞

入場無料
参加申込み制

お電話申し込み／お問合せ先は

080-2237-5914（マノ）

お申込みはこちらから▶

主催：NPO法人 こどもの広場 もみの木

連続フォーラム「子どものうちからバリアフリー」第三回

『誰でもできる保育、一緒に考えたいこと』

4つのテーマ

1. 子どもを見る―「できる／できない」の向こう側へ

木登り、鬼ごっこ、走る速さ、力の強さなど、具体的な遊びの中で「できる子／できない子」が生まれる。そのとき大人は何を見ているのか。「対等な4人組」へつながる大きな軸。

2. 子どもに任せるって、どういうこと?

口を出さないことが「見守る」なのか。「子どものことだから子どもに任せる」と距離を取ることも、ひとつの方法論になってしまわないか。大人には判断し、伝える責任もある。何度も形を変えて現れる葛藤が大人の課題を浮き彫りにします。

3.「自分で」から「自分たちで」へ

自立を「一人でできること」と捉えず、自分の気持ちを知り、自分の言葉で伝え、その上で他者と一緒に考えることとして捉える。「自分たちで」の土台に「自分で」があり、そこから「共同の価値」を知っていくという事例を掘り下げます。

4. 子どもを変えるのではなく、大人が変わる

これは「お母さん保育」だからこその気づき。保育に入った母親自身が、自分の子どもの見方、他の子の見方、親同士の遠慮、評価や支配性に気づいていく。親子が一体になってしまう母子同化についても大きなテーマとして扱います。

29年前、障害があるからと子どもたちが離れ離れにならなくて済むように、自分たちで保育をしようと集まった6人のお母さんと保育者の私も一緒にもみの木園を誕生させました。お母さんたちと保育者が共同で保育するということが、29年前はそれほど珍しいことではなく、あちこちに自主保育、共同保育団体が存在しており、お母さんたちが自由な発想で子どもたちの育つ場をつくっていました。お母さんと保育者がスクラムを組んで、私はそんな気風の中でお母さんたちに育てられた保育者です。もみの木園20年目の頃、社会の変化を強く感じるようになりました。その頃から私は、お母さんたちは、どこから来たのだろう?そしてどこへ行くのだろう?という問いが頭から離れなくなりました。情報過多の中でお母さん個人の姿が見えにくくなり、「子どもが育つ」ことへの関心があてがわれたもののように思え、共同保育を真に親自身のものにしていく取り組みの必要に迫られました。親同士、そして保育者も並んで見つめる子どもたちの姿は、計り知れない魅力に満ちています。子どもっておもしろい!保育を共有しあう話し合いが、親同士の関係を変えていく、子どもをとらえ直す機会をつくっていく、親自身が共同の価値に気づいていく、そんな歩みの実践をお伝えするフォーラムで、幅広い議論が生まれることを願っています。皆さまの参加をお待ちしております。(尾上陽子)

2026年 11月 29 日(日)　12:30開場／受付 13:00開始～16:00終了

NPO法人こどもの広場もみの木 とは…

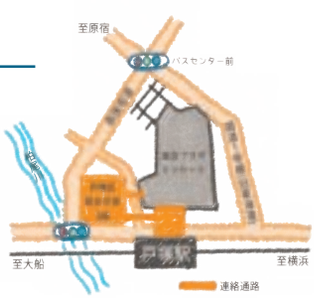
1998年4月、6人のお母さんとひとりの保育者が手をとり合って幼稚園をつくり、7人の子どもたちが生活を始めました。障害をもつ子どもたちも一緒でした。”青空保育”を思い描いたお母さんたちは、仲間としてつながった子どもたちの関係を途絶えさせることなく、これからも子どもたちを一緒に育てていこうと願ってもみの木園を誕生させました。7人の子どもたちはいつも「このメンバーでいっしょにできることは?」と考えながらあそびを生み出し毎日をつくっていきました。障害をありのままに受け入れとことんつき合い、お互いを引き受け合って一緒に生きる…そんな子どもたちの関係性、集団のあり方は以来ずっともみの木園の保育の核になっています。

会場へのアクセス

戸塚区総合庁舎3F
多目的スペース(中)
横浜市戸塚区戸塚町16番地17

JR/横浜市営地下鉄
『戸塚駅』
西口より徒歩2分

地下2･3階に駐車場がございます。
台数に限りがございますので、
公共の交通機関をご利用
いただく事をおすすめします。



会場website

事務局 | 〒244-0003　横浜市戸塚区戸塚町2833-43-111 NPO法人 こどもの広場もみの木 | www.mominokien.org